

2012 年度大学入試センター試験 解説〈世界史B〉

第1問 世界史における「死の文化」(配点 25)

A

問1 1 ④が誤り。

④ホルテンシウス法は、ギリシアではなくローマにおいて、前287年に制定された。これにより、貴族と平民との法的平等が実現した。①明の太祖洪武帝(位1368～98年)が制定した明律は、唐・宋・元代の法をもとに作成された刑法典である。②『ローマ法大全』は、東ローマ(ビザンツ)帝国の皇帝ユスティニアヌス(位527～565年)が法学者のトリボニアヌスに命じて編纂させたローマ法の集大成である。③『マヌ法典』は、古代インドの各ヴァルナの義務や規範をまとめた法典である。

問2 2 ②が正しい。

②緑・褐色・白などの彩色を施した唐三彩は、唐代の中国で副葬品として用いられた焼き物である。その写真はほとんどの教科書・資料集に載っており、基本事項に属する。①彩陶は、古代中国の仰韶(ぎょうしょう/ヤンシャオ)文化の特色をなす土器である。③染付(青花)は白磁に藍色で絵付けし、ガラス質の釉(うわぐすり)を塗って焼き上げたもので、日本では染付と呼び、中国では青花(青華)と呼ぶ。④黒陶は、古代中国の竜山(りゅうざん/ロンシャン)文化の特色をなす土器である。

問3 3 ①が正しい。

a・bともに正文である。aのオシリス神は、古代エジプトにおいて、冥界の王として死と復活をつかさどる神とされ、信仰を集めた。オシリス神の審判に備えて死者の副葬品として作成されたのが、パピルスに記された「死者の書」である。bのシヴァ神は、破壊や創造をつかさどる神として信仰を集め、ヴィシュヌ神やブラフマー神とともにヒンドゥー教の三大神とされる。

B

問4 4 ④が正しい。

空欄 ア イ にはアラビア半島、 イ にはワッハーブ派が入る。リード文の末尾にあるサ우드家が、現在のサウジアラビアの王家に連なるアラビア半島中部の豪族であることに気づけば、 ア にはアラビア半島が入ることが分かる。そのアラビア半島で、18世紀にイスラーム改革運動を展開し、ムハンマド時代の純粋なイスラーム教への回帰

を唱えた勢力として、にはワッハーブ派が入ることになる。ワフド党は、第一次世界大戦後にエジプトで反英独立闘争を展開し、1952年のエジプト革命まで政権を担った民族主義政党である。

問5 ①が正しい。

a・bともに正文である。aの始皇帝(位前221～前210年)の陵墓は驪山陵(りざんりょう)と呼ばれ、その付近では20世紀後半に実物大の兵士や兵馬をかたどった陶製の副葬品が多数発掘された。これを兵馬俑(へいばよう)という。bのカタコンベは、古代ローマのキリスト教徒の地下墓所であるが、初期の迫害時代には避難所や礼拝所としても使用された。

問6 ②が誤り。

②ウイグルが滅ぼしたのは、キルギスではなく突厥(東突厥)である。8世紀半ばに東突厥を滅ぼして王国を建設したウイグルは、9世紀半ばに同イトルコ系遊牧民のキルギスに滅ぼされた。①突厥は、6世紀半ばにモンゴル系の柔然を滅ぼし、さらにササン朝と結んでイラン系(またはトルコ系)の騎馬遊牧民エフタルを滅ぼした。③カラ=ハン朝は、10世紀末にイラン系のサーマーン朝を滅ぼして中央アジアを支配した。④ホラズム朝(ホラズム=シャー朝)は、モンゴル帝国のチンギス=ハン(位1206～27年)に征服された後も王族が抵抗を続けたが、1231年に最終的に滅亡した。

C

問7 ②が正しい。

②ゾロアスター教は、世界を光明神アフラ=マズダと暗黒神アーリマンとの対立の場としてとらえ、最終的に前者が勝利し、「最後の審判」で善き人々の靈魂が救われると説いた。この思想は、ユダヤ教・キリスト教・イスラーム教にも影響を与えた。①道教は中国の伝統的宗教、③バラモン教は古代インドの伝統的宗教であり、いずれも「最後の審判」の思想とは無関係である。④イスラーム教にも「最後の審判」の思想はあるが、イスラーム教はキリスト教よりも後に成立したため、影響関係は逆である。

問8 ①が正しい。

①中部イタリアのトスカナ地方の中心都市であったフィレンツェは、毛織物業や金融業で富を蓄積した。15世紀にはメディチ家が支配し、イタリア=ルネサンスの中心となった。②14世紀の「教皇のバビロン捕囚」で教皇庁が置かれたのは、フランス南東部のアヴィニョンである。③フッガー家の下で芸術が栄えたのは、南ドイツのアウクスブル

クである。④ブルネレスキ(1377～1446年)らがフィレンツェに建てたのは、**サンタ＝マリア大聖堂**である。ハギア＝ソフィア(聖ソフィア)聖堂は、東ローマ帝国のユスティニアヌス帝がコンスタンティノープルに建てたビザンツ様式の聖堂である。

問9 ③が正しい。

aのエラスムス(1469頃～1536年)が『愚神礼讃(ぐしんらいさん)』を書いたのは1509年であり、16世紀初頭の出来事。bのペトラルカ(1304～74年)が叙情詩を作ったのは14世紀半ばであり、1350年頃には『叙情詩集』が刊行された。cのセルバンテス(1547～1616年)が『ドン＝キホーテ』を著したのは、1605～16年で17世紀初頭の出来事。したがって、年代の順番はb→a→cとなる。それぞれの作品の成立年代は極めて細かな知識であるが、ペトラルカが**イタリア＝ルネサンス**の初期の叙情詩人であったこと、そしてエラスムスが16世紀初頭にドイツで宗教改革を始めた**マルティン＝ルター**(1483～1546年)と同時代人であったことから、aとbの年代の前後関係は推測できる。セルバンテスは16世後半以降発展した**スペイン＝ルネサンス**を代表する作家であるが、スペイン艦隊がオスマン艦隊を破った1571年の**レパントの海戦**で負傷したことで知られ、かろうじて16世紀後半から17世紀初頭にかけて活躍したことがわかる。

第2問 世界史上の国境について (配点 25)

A

問1 ④が正しい。

1727年に結ばれたこと、またモンゴル方面における露清間の国境を画定したことから、空欄 には、**キャフタ条約**が入ることがわかる。当時の清朝の皇帝は**雍正帝**(位1722～35年)である。**南京条約**は、1842年に清朝とイギリスが結んだ**アヘン戦争**の講和条約である。**康熙帝**(位1661～1722年)は、1689年にロシアと**ネルチンスク条約**を結び、北東アジアにおける露清間の国境画定を行った。

問2 ③が誤り。

③**シベリア鉄道**の建設開始は、**19世紀末**の出来事である。1891～94年の**露仏同盟**成立により、1891年、ロシアはフランス資本を導入してシベリア鉄道の建設を始めた。
①**モスクワ大公国のイヴァン4世**(位1533～84年)は、**ドン＝コサック**の族長**イェルマーク**に命じて16世紀後半にシベリア遠征を行わせ、シベリア進出に着手した。②日本は、**ロシア革命**で成立した**ソヴィエト政権**を打倒するために、アメリカ・中国ら他の連合国とともに**シベリア出兵**(対ソ干渉戦争)を行った。④初代**東シベリア総督**となった**ムラヴィヨフ**は、**アイグン条約**や**北京条約**の締結に尽力し、ロシアの北東アジアにおける領土拡大を推進した。

問3 ④が正しい。

④1956年10月の日ソ共同宣言により、日本は国際連合の安全保障理事会の常任理事国であったソ連との国交を回復し、これにより同年12月、国際連合への加盟を果たした。ただし、日ソ共同宣言はセンター世界史で求められる知識としてはかなり細かな部類に属する。①ラクスマンを日本に派遣したのは、アレクサンドル1世(位1801～25年)ではなくエカチェリーナ2世(位1762～96年)である。②日露戦争(1904～05年)の結果、日本が領有することになったのは、北緯50度以南の南樺太である。③日ソ中立条約の成立は1941年4月であり、1939年9月の第二次世界大戦勃発よりも後の出来事である。

B

問4 ②が正しい。

aは正文、bは誤文である。aの自主管理労組「連帯」は、ワレサを指導者として1980年にポーランドで設立された、政府から独立した労働組合である。共産主義政権崩壊後、ワレサはポーランドの大統領(任1990～95年)となった。bのチャウシェスクは、ポーランドではなくルーマニアの大統領(任1974～89年)であり、1989年の政権崩壊直後に処刑された。

問5 ②が誤り。

②西ドイツ(ドイツ連邦共和国)は、冷戦下の東側陣営の軍事同盟であるワルシャワ条約機構ではなく、西側陣営の反ソ軍事同盟である北大西洋条約機構(NATO)の一員となった。①ドイツの4か国分割占領は、1948～49年のソ連によるベルリン封鎖の背景となった。③東ドイツ(ドイツ民主共和国)は1961年、東ドイツからの亡命を阻止するために、西ベルリンの周囲にベルリンの壁を築いた。④ニュルンベルク国際軍事裁判ではナチス＝ドイツの指導者が、また東京裁判(極東国際軍事裁判)では日本の戦争指導者が裁かれた。

問6 ④が正しい。

④エストニア・ラトヴィア・リトアニアのバルト3国は、第二次世界大戦勃発直後にソ連軍に占領され、1940年に正式に併合された。①アルザス・ロレーヌがドイツ帝国領となったのは、プロイセン＝フランス(普仏)戦争(1870～71年)に勝利してフランスから割譲されたことによる。②百年戦争(1339～1453年)終結後もイギリス王が大陸側に保有した唯一の地は、北海に面したフランスの港市カレーである。③アメリカ＝メキシコ戦争(1846～48年)の結果、アメリカ領となったのは、ニューメキシコやカリフォルニアである。テキサスは1836年にメキシコから独立した後、1845年にアメリカに併合された。

C

問 7 16 ④が正しい。

中華人民共和国とベトナムとの間で起こった中越戦争は 1979 年の出来事なので、時期としてはベトナム戦争が終結した 1975 年以降の d の時期である④が正解となる。1978 年、ベトナム軍がカンボジアに侵攻してポル＝ポトを指導者とする民主カンプチア(民主カンボジア)の政権を倒すと、民主カンプチア政権を支持していた中国は「膺懲(ようちょう)」(征伐してこらしめること)と称してベトナムに侵攻し、中越戦争が始まった。戦争は、ベトナム優位のうちに終わった。

問 8 17 ③が正しい。

a は誤文、b は正文である。a の琉球は、1609 年に島津氏に制圧されると、薩摩藩への貢納を強要されたが、以前から行っていた明や清への朝貢も継続した。このため、19 世紀まで琉球は薩摩藩と中国王朝との両属体制の下に置かれることとなった。両属体制はセンター世界史としてはレベルが高い。b の邪馬台国の女王卑弥呼が三国時代の魏に朝貢使節を送り、親魏倭王の称号や金印などを与えられたことは、『魏志倭人伝』(『魏書』東夷伝倭人条)に記されている。

問 9 18 ②が誤り。

②中書省は、唐代の中央政府の最高機関である三省の一つであり、皇帝の詔勅の起草を担当した。以後の歴代諸王朝も基本的にはこの機関を継承したが、明の太祖洪武帝はこれを廃止して皇帝独裁体制を強化した。①軍機処は雍正帝が創設した清代の軍事行政上の最高機関、③理藩院は乾隆帝(位 1735～95 年)の時代に整備された藩部を管理する中央官庁、④総理事務衙門(がもん)は 1861 年に設立された近代的外交事務官庁であり、いずれも清朝が設置した機関である。

第 3 問 世界史上の経済政策について (配点 25)

A

問 1 19 ①が正しい。

①張騫(ちょうけん)が前漢の武帝(位前 141～前 87 年)の命で大月氏に派遣されたのは、前 139 年のことであり、これは前 2 世紀後半に起こった出来事に該当する。②西域出身の仏図澄(ブドチンガ)が華北で仏教の布教に活躍したのは、4 世紀前半のことである。③遼の王族の耶律大石(やりつたいせき)が中央アジアに移り、西遼(カラ＝キタイ)を建てたのは、1132 年のことであり、12 世紀前半のことである。④班超が西域都護となったのは、後漢時代の 91 年であり、1 世紀末の出来事である。

問2 20 ②が正しい。

②チャンパー(林邑)は、ヴェトナム中・南部を中心に建てられた王国であり、東アジアとインド洋を結ぶ中継交易で栄えた。中国ではこの国の名を2世紀以降は林邑、8世紀半ば以降は環王、9世紀半ば以降は占城と表記した。①マタラムは、16世紀末にジャワ島の東部に建てられたイスラーム王国である。③パルティアは前3世紀に成立したイラン系遊牧民の国家であり、「絹の道」をおさえて繁栄した。④カルタゴはフェニキア人が北アフリカ北岸に建設した植民市であり、西地中海の交易を独占して栄えたが、ローマとの3回にわたるポエニ戦争の末、前2世紀半ばに滅亡した。

問3 21 ③が正しい。

③前漢の武帝が施行した均輸法と平準法は、いずれも政府による物価統制を通して税収の安定的確保を図るものであった。①市易法は、北宋の宰相王安石(任1070～76年)が断行した新法の諸政策の一つである。②均田制を初めて施行したのは、北魏の孝文帝(位471～499年)である。④半両銭を統一貨幣に定めたのは、秦の始皇帝である。

B

問4 22 ③が正しい。

地図中のaはマカオ、bはバタヴィア(現在のジャカルタ)の位置を示している。いち早く新航路開拓に乗り出し、おもにアジア方面に展開したポルトガルは、1557年に明よりマカオの居住権を認められ、ここを東アジア貿易の拠点とした。17世紀初頭にジャワ島のバタヴィアを交易拠点としたのは、オランダである。

問5 23 ②が正しい。

②現在のボリビア南部に位置するポトシでは、16世紀半ばにアメリカ大陸最大の銀鉱が発見された。①クスコは、アンデス高原を中心に栄えたインカ帝国の都である。③アンボイナ(アンボン)は、東南アジアのモルッカ(マルク)諸島の一つであり、17世紀初頭までイギリスの拠点があった。④インド西岸の港市ゴアは、16世紀初頭にポルトガルが占領してアジア貿易の拠点とした。

問6 24 ④が正しい。

aの地丁銀制は清代、bの兩税法は唐代、cの一条鞭法は明代に導入された。したがって、年代の順番はb→c→aとなる。780年に導入された兩税法は、夏と秋の2回、土地資産に課税し、銭納を原則とする税制である。16世紀後半に導入された一条鞭法は、国内における銀の流通増大を背景に、土地税と人頭税を一括して銀で納めさせる税制で

ある。清代中期に導入された地丁銀制は、人頭税を土地税に繰り込み、一括して銀で納めさせる税制である。

C

問7 25 ④が正しい。

a・bともに誤文である。aの**黄埔(こうほ)条約**は、1844年に結ばれた清とフランスとの**修好通商条約**であり、これにより清はフランスに対する関税自主権を失った。清がイギリスに対する関税自主権を失ったのは、アヘン戦争の講和条約である1842年の**南京条約**と、翌年結ばれた**虎門寨(こもんさい)追加条約**による。bの**穀物法**は、輸入穀物に高関税を課すことで輸入を制限し、地主の利益を守る**典型的な保護関税政策**である。19世紀前半のイギリス自由主義改革のなかで、地主層と対立する産業資本家層の批判を受け、1846年に撤廃された。

問8 26 ①が正しい。

①フランスを孤立させることで国際政治の安定を目指したドイツ帝国の宰相**ビスマルク**(任1871～90年)は、フランスとロシアの接近を防ぐために、1887年、**ロシアと再保障条約**を結んだ。②**フランクフルト国民議会**が開かれたのは、ベルリン三月革命後の1848年5月であり、ビスマルクが活躍する以前の出来事である。③ビスマルクが行った**文化闘争**は、ユダヤ人ではなく**カトリック勢力**との争いである。④「**世界政策**」と呼ばれる**帝国主義政策**を推進したのは、ビスマルクを引退させて親政を始めたドイツ皇帝**ヴィルヘルム2世**(位1888～1918年)である。

問9 27 ②が正しい。

②1914年7月に**第一次世界大戦**が始まると、日本は日英同盟を口実として同年8月に連合国側で参戦し、10月には**ドイツ領南洋諸島(太平洋諸島)**を占領した。①「**平和に関する布告**」は、1917年11月、ロシアでレーニンが発表したソヴィエト政権の外交方針である。③**第一次世界大戦**終結直前に水兵反乱が起こった**キール軍港**は、ドイツの軍港である。④中国で**共産党**が結成されたのは、**第一次世界大戦**終結後の**1921年**である。

第 4 問 世界史上の言語について (配点 25)

A

問 1 28 ④が誤り。

④韓国(大韓帝国)が日本と3次にわたる日韓協約(1904, 05, 07年)を締結したのは、20世紀初頭のことである。これにより内政・外交権を奪われ、軍隊も解散させられた韓国は、1910年に日本に併合された。①日本による台湾出兵は1874年、②インド国民会議の結成は1885年、③ドイツ・オーストリア・イタリアによる三国同盟の結成は1882年のことであり、いずれも19世紀後半の出来事である。

問 2 29 ④が正しい。

aの朝鮮(李朝)における訓民正音(ハングル)の制定は15世紀半ば、bの遼における契丹文字の作成は10世紀前半のことである。cのヴェトナム(陳朝)における字喃(チュノム)の作成時期は、13世紀頃と考えられている。したがって、年代の順番はb→c→aとなる。それぞれの文字の正確な成立年代を知らなくても、それらの文字がどの王朝(国家)で形成されたかをおさえれば、おおまかな前後関係を導き出すことができる。

問 3 30 ③が正しい。

空欄アには新文化運動、空欄イには武断政治(武断統治)が入る。1910年代の中国で展開された新文化運動は、儒教道徳や封建思想を批判して近代文明や科学を重視する啓蒙運動である。その文学面での展開が文学革命と呼ばれ、具体的には白話(白話文学)運動が推進された。1910年の韓国併合後に朝鮮総督府によって進められた武断政治(武断統治)は、憲兵や軍隊などの実力を背景に行われた強圧的な統治である。文化大革命は、1966年～70年代初頭にかけて中華人民共和国で展開された権力闘争である。羈縻(きび)政策は、中国王朝が周辺異民族に対して行った間接統治政策のことであり、特に都護府を通して行われた唐代のものが知られている。

B

問 4 31 ③が正しい。

空欄アにはタミル語、空欄イにはヒンディー語が入る。リード文から、アにはドラヴィダ系、イにはインド＝ヨーロッパ系の言語が入ることが分かる。一方、選択肢に見えるヒンディー語はインド＝ヨーロッパ系、タミル語はドラヴィダ系、アッカド語はセム系の言語である。したがって、アにはドラヴィダ系のタミル語、イにはインド＝ヨーロッパ系のヒンディー語が入ることになる。タミル語もヒンディー語もともに出題頻度が高いとは言えず、センター世界史レベルでは差のつきやすい知識である。

問5 32 ③が正しい。

aは誤文、bは正文である。aのインダス文字は、古代インドのインダス文明で使用された象形文字であり、ドラヴィダ系の言語を記していると推定されているが、現在も未解読のままである。bのムガル帝国の公用語は、帝国の支配者層がイスラーム教徒であったこともあり、ペルシア語であった。このため、ムガル帝国の君主はシャーを名乗った。教科書の本文をていねいに読み込む、きめ細かな学習を通して得られる知識である。

問6 33 ②が正しい。

②1956年に発生したハンガリー反ソ暴動(ハンガリー事件)では、ナジ=イムレを首相とする改革派政権が成立したものの、ソ連軍の介入で打倒され、ナジ=イムレは処刑された。①インドは1974年、パキスタンは1998年に核実験に成功して核保有国となった。特に1998年には、インドの核実験の直後にパキスタンが核実験を行い、両国の緊張が高まった。③中華人民共和国が国際連合の「中国」代表権を獲得したのは、1971年のことである。これにより、台湾の中華民国(国民政府)は国連から追放された。④ソ連がキューバにミサイルを配備してキューバ危機が発生したのは、1962年のことである。

C

問7 34 ②が正しい。

aは正文、bは誤文である。aのギリシア人は、みづからをヘレネス(英雄ヘレンの子孫)と呼んで同一民族意識をもつ一方、異民族をバルバロイ(聞き苦しい言葉を話す者)と呼んで軽蔑した。bのルターを保護したのは、神聖ローマ皇帝ではなく反皇帝派の諸侯の一人ザクセン選帝侯フリードリヒである。ルターは、ザクセン選帝侯の保護の下、ヴァルトブルク城で『新約聖書』のドイツ語訳を完成させた。

問8 35 ①が正しい。

地図中のaは南チロル(南ティロル)、bはサルデーニャ島の位置を示している。1861年にイタリア王国が成立し、1870年に教皇領が占領されたことで、イタリア統一はほぼ達成された。しかし、イタリア系住民の多いトリエステや南チロルは、その後もオーストリア領にとどまったため、イタリア側はこれらの地域を「未回収のイタリア」と呼び、併合を求めた。両地域は、第一次世界大戦の講和条約の一つである1919年のサン=ジェルマン条約で、オーストリアからイタリアに割譲された。bのサルデーニャ島は、19世紀後半にイタリア統一運動の中心となったサルデーニャ(サルディニア)王国の発祥の地である。

問9 ②が正しい。

② 17～18世紀にかけて盛んに行われた大西洋三角貿易では、西アフリカで獲得した黒人奴隷をアメリカ大陸へ運び、プランテーションの労働力として使役した。①ザンベジ川の流域は、11～19世紀までモノモタパ王国が支配した。阿克苏ム王国は、エチオピアのアビシニア高原を中心に栄えた王国である。③17の新興国が独立したことで**第三世界の自立**を象徴する年とされる「**アフリカの年**」は、**1960年**である。④1963年に創設された**アフリカ統一機構(OAU)**は、2002年にヨーロッパ連合(EU)をモデルとする**アフリカ連合(AU)**に発展した。